

◀ 小 代 区 ▶

開催日：令和7年10月8日（水） 場所：小代区総合センター

一般参加者数：32名

■クマ出没の対応について■

【質問者】

クマの出没が全国的にあり、町内でも出没情報を聞いている。本来鉄砲を撃つにあたり、民家の近くはダメとか撃てる時間帯や場所が決まっているが、今は町長の判断で猟友会や警察と一緒に、その範囲外でも可能となっていると思う。課題があると思うが町としての体制が今どのような状況になっているのか、猟友会の訓練や警察との連携などのマニュアル整備ができてきているのか、クマ出没についての対応をお聞きしたい。

【町長】

確かに自治体の長の判断で可能となっていますが、先だって新聞記者からの質問にも回答しましたが、私の判断でどんどん駆除するのではなく、猟友会や農林水産課担当職員とも検討し、状況判断しながら、県の管理計画で駆除の頭数も決まっていますので、今までの対応の延長線上に最終的な手段があるという考え方で臨んでいきたいと考えています。

■農地の今後について■

【質問者】

私のところは田を畑に変えたら一部補助が出るということで、今まで大納言小豆とか黒豆とか作っている。昨今の米不足を受け、世間は急遽方向転換して米の増産化ということで、田を畑にするのではなくて、むしろ田を増やすような方向だと思う。中山間の補助が5年間ある中で、補助をもらう方法で5年間分をまとめてもらうか、1年ごと報告してもらうかが選択出来て、私は1年ごとを選択しているが、今方向性が逆になっているので、5年間まとめてもらった方がよかったかではと思っている。本当に米、田を増やす方向に行くのか、いや小代みたいな生産性の低いところ関係ない、棚田は十の機能があると言われていたが、こんなのは早く畑にするようにしてくれというイメージなのか、全体的な将来への方向性をお伺いしたい。

【町長】

国が示している米の増産が香美町にすぐ対象になるかと言うと難しいと思います。言われたように中山間地の補助金がでているような急傾斜の田を転作で畑にしたものを、また水田に復旧するようなことは難しいです。平地で基盤整備された大きな田で集団転作されているようなところは、地域の相談で水田に復旧することは可能かもしれませんが、中山間地域の状況では難しいです。国の方針が米の増産体制を取るとしても香美町では難しい。ただ条件のよい土地、あるいは香美町でも大型農家の方も数名おられるので、そういった方々に条件のいい休耕田を復旧していただくような取組は、今後考えられるのかなと思います

し、先ほどお話ししたように、今年度は米の価格が例年の倍なので、大型農家の方はチャンス年だと思います。来年からの米価がわかりませんが、そういう対応で農業就業を頑張っていた方々に農地を集積していくほうが、香美町にはあっていると思います。

■小代区内での事業の進捗状況について■

【質問者】

私も町政懇談会に4年目から出席している。香美町となり20年経過したが何かにつけて寂しい話ばかりで、我々高齢者がわくわくするような話が一向にない。先ほど町長が説明されましたがここは小代の会場なので、特に小代に関係する計画については、もう少し丁寧に、大谷バイパスや物産館の件も具体的にどの程度まで話が進んでいるのか、再度説明していただきたい。

【町長】

具体的にということで、本日全課長が出席していますので、道路のことは建設課長が、小代区に特化したことや小代物産館の改築等につきましては小代地域局長が、今後の小代地域の関係で漏れているところがあれば、それぞれの担当課長に説明させます。

【建設課長】

大谷バイパスの説明をします。大谷バイパス2期ということで、野間谷から忠宮まで令和4年に事業化され、令和5年、6年と用地測量等の調査を県の方で進めています。令和7年につきましては、終点の忠宮のバス停に右岸側から左岸側に矢田川を渡る橋が新しくかかるので、近くの用地買収を進めることを県から聞いています。ただ、橋梁は工事費も高騰していてかなり費用がかかるということで、その予算もなかなかつきにくい状況です。一昨日、但馬の首長全員が近畿整備局の方に合同で要望会に参加されました。内容は山陰近畿道と国道9号線の整備のことでしたが、特にということで大谷バイパス2期も側面的に国の支援をということで、町長から直接要望をさせていただきました。その他にも国道482号についても豊岡市と一緒に会を作り、そちらも顧問として、国会議員、県会議員、県土木の所長などがメンバーになっていて、その中で要望しています。

【小代地域局長】

小代物産館は観光を中心とした交流拠点で、区内の情報発信や人との交流を積極的に推進する機能を果たしてきました。ところが平成2年の竣工から35年が経過し、雨漏りや外壁の劣化など老朽化が著しくなったので、1級建築士に建物診断を依頼した結果、全体的にも腐食が進行しているため、更新時期を迎えているということでした。それを受け、小代物産館整備検討委員会を発足し、その中で施設の必要性、改修等の方法などが協議され、小代物産館は小代区民にとってなくてはならない施設であり、今後の小代区の発展のためにも更新が必要であること、また利用形態に合った施設の機能と規模の建物にするためには新築でないとダメだという結論に至りました。活用の方法として、一つは地域の人々の交流促進を目指すことから、高齢者や子育て世代が気軽に立ち寄れる場所にしたい、また今もある

県民交流広場をいろんな団体が使用しているがそういった機能は残す、農産物の販売コーナーなども残していく、芝生広場を整備し、定期的に地域の人がそこでイベントをすることができる場所などを目指します。もう一つは地域資源を生かした交流拠点ということで、観光協会に入らせていただくことと、既存の但馬牛博物館をより充実させた形にしたいと考えています。事業概要は、既存建物が鉄骨2階建て、延床面積587㎡を、今度は木造平屋建て、面積も大体300㎡程度でコンパクトなものにします。まもなく設計が出来上がるので、11月末から12月の間に入札、12月議会で承認をいただく予定です。1月から解体工事着工、来年の12月に完成予定です。次にゴンドラの関係ですが、かなり古くなって故障が増え、年に1、2回は止まるような事象もあります。原因はコンピュータが老朽化している等々があり、そのため昨年と今年で一番大元であるゴンドラを動かすためのモーターを新しくする工事をしている最中です。それに付随して、モーターを動かすモーター盤も古くなってきているので、それも合わせて更新する予定です。電気設備（キュービクル）も古くなっており、それは今年工事にかかり、既に完了しています。あとはモーターとキュービクルからきている線を繋ぐだけの状態となっています。12月にはシーズンが始まりますので、それに間に合うように今進めているところです。物産館の関係の概算の予算は、総額で工事費が1億4000万円、あとゴンドラ関係はモーターの更新が約6000万円と、あとキュービクルが2500万円程度となります。

■防災訓練について■

【質問者】

町の防災訓練を風水害という設定で行った。前回の町政懇談会でどなたか区長が公民館に一時避難しようにもその公民館自体が危ないというような話の中で、小代が一番安全なところはどこかという話になると、やはり小学校、中学校、小代地域局があがった。一時避難でなくて少し大掛かりになるが避難訓練をしたらどうかという話がでた。これは簡単なことではなく移動することにもなるので、それができるのか。できるなら自治会も協力させていただく。

【町長】

防災訓練の関係でこの2次避難所の活用についての訓練も必要ではないかというご意見をいただきました。地域の方から要望があれば、例えば地域局あるいは学校施設も2次避難所の取り扱いは十分できますが、訓練時間が限られていますので、区民の参加の可否の懸念もありますが、必要であるという区長会等の判断があれば、2次避難所の活用の訓練について何ら問題はございません。この件は、来年の実施に向けて、区長会あるいは消防団からの意見も勘案しながら訓練の体制は整えてまいります。

■大谷バイパス2期工事について■

【質問者】

道路のことで建設課長からも説明があったが、小代自治会でも土木事務所に先般要望をした。その中でやはり大きな目標は先ほど出していた大谷バイパス第2期。当然小代区では大きな道路工事だが、着手目標が令和4年からなのに、実は現在予算がないということであつ

た。小代中学校の裏側、残酷マラソンにも使用するが通学路であるのに狭小な部分であるので、この部分については特に調査をよろしくお願ひしたい。全て青写真はかけていると思うので何とか頑張っていたきたい。

【町長】

大谷バイパスの改良促進の件、先日道路の関係で近畿地域整備局に要望活動にも行きましたが、やはり一番問題になるのが道路事業費の国の総額の問題、例えば、昔は当初で10兆ぐらいあった道路改良費が今6兆前後に、不足分が補正されるぐらいの予算となっています。さらに予算を組んでいても、物価高で今までの6割7割ぐらいしか工事ができないというのが国土交通省の見解です。我々に課せられた使命は、国や県への要望を通じて道路予算総額をまず引き上げることによって、但馬地域の道の整備が推進できる。国の予算総額も、全体が医療費も含めて人件費が増大していて、今レベルの予算を組んでいっても、今までの7割のことができるかどうかということが課題であろうかと思ひます。まず税収が増えるような取組をしていくことで、国民のために活用できる予算を振り分ける、予算を確保していただくことが一番大事かと思ひます。道路の関係は、この小代区内だけでなく香美町全域の国県道町道を含めて、国の財政状況、町の財政状況がありますが、一生懸命取り組んでまいります。

■不要木の伐採について■

【質問者】

林業の振興ということの中で、クマの話も出たが、既に町の方で不要木、危険木の要望のとりまとめがあり、どちらも採択いただいたが、特に不要木、これから10月、11月のクマなどが出没する中で、今、木を切らないと、いろいろなものになっている時期なので、まだ着手されていないところはなるべく早い時期にお願いしたい。危険木については、年内の目標で進めていただけるということで、期待している。

【町長】

不要木の伐採の件、先ほどのクマの関係も含め、町としてしっかりと取り組んでいけるよう何らかの手段を、地域の方々、区長からの意見調整、また費用面等検討し、今後も提供していきます。

■インバウンドの状況について■

【質問者】

活力あるまち作りの観光振興の中で、大阪万博が終わる時期になったが、香美町全体の中でインバウンドはどれぐらいあったのか。小代でインバウンドを受けることはほとんどないが気になるのでお願いしたい。また先ほど Gondola の話を地域局長がされたが、今小代は1,500人の人口の中で、新しく建築のものが1億4000万円、Gondolaにも6000万円。1,500人のところに公費として2億をかけていただきありがたいが、これを活性化に繋げていかないといけないのは、これは町当局の問題だけでなく、地域がどれだけそこ

に関わって応援するかが大きな課題だろうと思う。これは我々にも責任がある。小代区の拠点としてゴンドラの冬の観光と、それからそれに付随したおじろん、イベントでは残酷マラソンや冬の雪合戦、これが小代区の大きな集客施設であり、イベントである。我々も頑張っていかなければならない部分である。

【町長】

インバウンドの状況として、但馬地域では城崎が圧倒的に増えています。ただ以前にも回答しましたが、余部の道の駅は鳥取方面から来られる中国・台湾系の方々が来られています。私も月一で訪れており、結構な頻度でインバウンドの方を見かけますが、見ていただくだけで、実際に売り上げはあまりありません。特に交通インフラの整備が非常に遅れています。例えば、駅で電子決済ができないのは特急の停車駅では兵庫県下で香住駅と浜坂駅だけで、その件も知事に何度となく要望し、JRにも度々お願いしていますがなかなか進みません。何らかの代替手段を持ってインバウンドが但馬地域にもお越しいただく形にしたいと思っています。直接インバウンドとは関係ありませんが、今の関西万博のフィールドパビリオンに熱田の集落が指定されていますので、そこに外国人の方が行かれることもあります。今後そこが課題ですので、観光協会とも連携を深めていきたいと思っています。

■いじめ対策について■

【質問者】

学校の中で教育長の考えるいじめ対策というのはどういうものかをお聞きしたい。

【教育長】

いじめの対応については10年ぐらい前から国の方針、県の方針、当然町の方針、また各学校内の方針ということで対策の方は進めています。年間のいじめ認知件数ですが、香美町は他市町よりも少ないぐらいの件数で、大体80件ぐらいとなっています。「いじめは団体生活の中ではある」でスタートを切っています。今は学校で見つけたものがほとんどで、その見つけ方も香美町では、本人が訴える、アンケートで見つける、連絡をもらうなどが主流になっています。一つは信頼していただいているというには考えていますが、もちろんこれは学校だけの問題ではなくて、家庭と学校、もっと言うと保護者と学校がしっかりと連携をとって進めていくべき問題だろうと捉えています。

■ワールドマスターズゲームズについて■

【質問者】

ワールドマスターズの件、これはもう古い話になったような気もするが、これは教育委員会の課長の方にお聞きしたい。香美町と養父市とそれから神河町でどのようなことをするのか、その辺を教えてください。

【生涯学習課長】

ワールドマスターズゲームズについては、コロナで長く延期になっていました。4年に1

度の国際大会ということで、開催日程については令和9年の5月下旬、当初予定は5月26日から30日でしたが、若干ずれる可能性があります。競技はオリエンテーリングを行いますが、これは北欧を中心に発祥した競技になっていて、世界40カ国、大体1,500人から1,800人ぐらいの選手が香美町を訪れることになっています。また、今回ワールドマスターと世界選手権を併設して開催するため、それ相応の選手が来られます。香美町の受け入れ体制について、現在、宿泊施設の意向調査を取り、部屋数、宿泊可能人数の把握をしています。養父市と神河町と香美町の3市町で開催をする中で、養父市と香美町で1,600人ほどの選手の受け入れが可能です。外国人選手がほとんどなのでWi-Fiとカードキー、電子決済が必須で、こちらについては大体9割ぐらいの宿泊施設で対応可能、あとは宿泊プランをアップしていただくことになります。その他町内で散策マップクーポン付きのものを作り、外国人選手が香美町の中で買い物をしたり、体験をしたりということを考えています。大会の開催場所が山の中で交通インフラがないため、各宿泊施設からシャトルバスを運行する計画で積算をしています。エントリーが令和8年3月からスタートしますが、このワールドマスターズゲームズは30歳以上のスポーツの好きな方ならどなたでも参加をできる競技なので、香美町の中からも1人でも多くの方に参加していただきたいと思います。

【町長】

ワールドマスターズゲームズは、ボランティアなど皆様のご協力がなくては難しいので、時期になりましたら何らかの情報提供を町民の皆様にもさせていただきますので、小代の皆さんもご参加いただければありがたいと思います。

■地域への予算配分について■

【質問者】

小代は香美町の10%程度の人口でかつ高齢化率も高い状況。統計を見ても、専門家によると結局頑張っている市町は会社の数が多いのとインバウンドが多い。ところが小代はインバウンドがほとんどなく、会社も零細企業が数えるほどしかない。これで将来はどうなるのだろうという不安感が増す。なんとかしなければと前から思っていたが、今となっては間に合わない状況までできてしまったと思う。町長にお聞きしたいのは、自分たちがまちを明るく元気にするために使ってもよいお金だからもっと考えろというお金を地域にだけないか。ダメならダメな理由をお聞きしたい。自由に使えるお金を桁違いで増やすということを検討していただき、そして考える能力を与えていただきたい。古代体験の森はお金がないためにブルーシートが貼ってあり、外国人を連れていったが恥ずかしかった。住民も、もっといろいろと知恵を出す訓練をしないとこの後心配である。482号もずっと通行止めで、インバウンドがなかなかきにくい。そういうことに対してどのように自分たちが考えて直していくとかそれをSNSで発信していくことにも予算が必要なことを申し上げた。

【町長】

何でも使えるお金を地域に配ることはできません。そんなことをすれば予算も決算もなくなります。必要があるから予算を立て、町民の方々にお示しをする。住民の生活、この町が生きていくために必要な考え方にいくら必要なのが予算です。香美町の予算は250

億円で、それも一つずつの積み重ねで成り立っています。先に配分があって、後で何に使うかを地域に考えていただくというようなお金の配り方はできません。予算の編成基準が地域に移ってしまい、地域の要望が予算になるという考え方をすれば、その予算を執行する場合議会の承認も必要なので、制度上できません。

■小水力発電設備の設置について■

【質問者】

実は小代を良くしようとして、何十年間頑張ってきた方が、もう既にお亡くなりになったが、久須部に小水力発電の設置に尽力された。もう稼動しているが、自然エネルギーを使用したユニークではないが、小代から発信した。その方の小代をよくしたいという気持ちに打たれて鴻池組というゼネコンが協力され、水力発電を開発。香美町の中でそういうことができたことに私たち地元の間はすごく喜んでいる。そんなに大きい発電ではないが、そういうものを使ったことも地道にやっっていく現状があることを知っていただきたい。

【町長】

小水力発電は私も開所式にも出席し、その際、鴻池組の社員の方が田淵覚男さんの写真を持ってこられました。一生懸命になっておられたのは私も十分承知しています。会社は変わりますが、今、村岡の作山でも計画があるようです。久須部の施設も地の利を生かした立派な施設です。自然エネルギーの取り組みが香美町で小代が最初に取り組めたということは昨年の町政懇談会でも申し上げたと思います。開所式にも出席し、取水口も上まで行って拝見しました。発電所のタービンのスイッチオンも私がしたと思います。鴻池組が田淵覚男さんの写真を飾っておられたのをよく覚えています。田淵さんにも取組の話し合を聞かせていただきました。ありがたいことでした。